

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[CSS 115xx および CSS 11xxx プラットフォーム](#)

[CSS 118xx プラットフォーム](#)

[ファイルの圧縮](#)

[ワークステーションから CSS への FTP](#)

[Cisco テクニカルサポートに提出する重要なコア情報の抽出](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Content Service Switch (CSS; コンテント サービス スイッチ) がクラッシュした原因を突き止めるために、CSS から情報を抽出する手順について説明しています。この情報は、[Cisco テクニカルサポート](#)のエンジニアがリポートの原因を突き止めるための情報として役立ちます。すでに修正済みの不具合が発生している場合は、適宜、対処方法が提示されます。注：弊社とのサポート契約がないお客様は、製品をご購入いただきました販売店経由でお問い合わせください。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解する必要があります。

- CSS デバッグ機能 llama の使用

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CSS 11000 : [販売終了](#)
- CSS 11500
- CSS 11800 : [販売終了](#)
- WebNS ソフトウェア

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始して

います。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

問題

通常、CSS が予期せずリポートしたときは、クラッシュの原因を究明するための手がかりとなる情報が残されません。原因究明に役立つ情報を収集し、問題の対応策を迅速に見出すことが最も重要です。

解決策

NVRAM にミニダンプレコードが残されていないかどうかを確認します。

CSS 115xx および CSS 11xxx プラットフォーム

このセクションに示す出力は CSS 115xx プラットフォームのもので、

- ログインし、**llama** デバッグを有効にします。Username:adminPassword:CSS501-1# **llama**CSS501-1# **show chassis**Configuration for CSS11501:Product Name: CSS11501 SW Version: 7.20 Build 405Serial Number: JAB063007D3 Base Mac Address: 00-05-9a-3a-e3-11Module Number Module Name Status 1 CSS501-SCM-INT primaryPort Number Port Name Status 1 e1 online 2 e2 online 3 e3 online 4 e4 online 5 e5 online 6 e6 online 7 e7 online 8 e8 online 9 e9 onlineCSS501-1(debug)# **dump nvram show 1 1**Exception record found in NVRAM: crashDumpNvramInfo.version = 0 crashDumpNvramInfo.excValid = 1 crashDumpNvramInfo.excTaskIdCurrent = 0x8a6e13d0 crashDumpNvramInfo.excTaskName = PDNS_KM crashDumpNvramInfo.vecNum = 9 crashDumpNvramInfo.esf: param1: 0xe0000000 param2: 0xe0000000 param3: 0xe0000000 param4: 0xe0000000 _errno: 0xe0000000 cause: 0x00000024 cntxt: 0xe0000000 fpcsr: 0x01000000 badva: 0xbfc00004 _pad: 0xe0000000 esfRegs: sr: 0x3401ff01 pc: 0x806978d0more...ミニダンプには、発生した不具合を識別のに必要なすべての情報が含まれている可能性があります。
- 残されたコアファイルが必要になる場合があります。このファイルを確認するには、**show core** コマンドを発行します。CSS501-1(debug)# **show core** <No files available>コアファイルがある場合は、コアファイルの一覧が時間、日付スタンプ、サイズとともに表示されます。タイムスタンプの情報から最新のコアファイルを特定します。注ファイルサイズが 130,024,448 バイトである場合、またはファイル名の末尾に .gz が付いていない場合、そのファイルは圧縮されていません。マシンからコピーする前にファイルを圧縮してください。詳細は、「[ファイルの圧縮](#)」セクションを参照してください。

CSS 118xx プラットフォーム

このセクションに示す出力は CSS 118xx プラットフォームのもので、

1. ログインし、llama デバッグを有効にします。css800-1# llama css800-1(debug)# show chassisConfiguration for CSS 11800:Name: CSS 11800 SW Version: 6.10
Build 304HW Major Version: 05 HW Minor Version: 0Serial Number:
14310001915Base Mac Address: 00-10-58-57-1b-d3Slot Number Slot Name Status 1
FEM powered-on 2 GEM powered-on 3
FEM powered-on 4 FEM powered-on 6
SFM2 primary 7 SCM primary 8 SCM
backup 9 SFM2 primary 11 FEM powered-on 12 GEM powered-on

```
css800-1(debug)# dump nvram show 7  
1Exception record found in NVRAM: crashDumpNvramInfo.version = 2  
crashDumpNvramInfo.excValid = 1 crashDumpNvramInfo.excTaskIdCurrent = 0x87a90490  
crashDumpNvramInfo.excTaskName = tSnmpd crashDumpNvramInfo.vecNum = 2  
crashDumpNvramInfo.esf: param1: 0x86005794 param2: 0x86005794 param3: 0x00000000  
param4: 0x40688a32 _errno: 0x40688a32 cause: 0x00000008 cntxt: 0x00000002 fpcsr:  
0x01000000 badva: 0x000f4240 _pad: 0x21202800 esfRegs: sr: 0x3400ff01 pc: 0x808ba330  
lo: 0x0027758e hi: 0x0000027c r00/zero: 0x00000000 r01/at: 0x80d90000--More---
```

css800-1(debug)# 「[ファイルの圧縮](#)」セクションを参照してください。

2. 残されたコア ファイルが必要になる場合があります。このファイルを確認するには、show core コマンドを発行します。css800-1(debug)# show core SFM0601_5.00_25.0 JUL 23 15:32:36 130024448 SFM0601_5.00_204.0 NOV 6 14:38:04 130024448css800-1(debug)# コア ファイルがある場合は、コア ファイルの一覧が時間、日付スタンプ、サイズとともに表示されます。タイムスタンプの情報から最新のコア ファイルを特定します。

[ファイルの圧縮](#)

このセクションに示す手順は CSS 118xx プラットフォームでの手順です。ファイルを圧縮するには、ログインして llama デバッグを有効にします。

```
llamacompress c:/Core/
```

これによりデバッグ モードに移行し、ファイルが圧縮されます。圧縮には相当の時間がかかり、CPU の負荷が増大します。

[ワークステーションから CSS への FTP](#)

このセクションに示す手順は CSS 118xx プラットフォームでの手順です。

CSS からファイルをコピーするため、ワークステーションから CSS への FTP を開始してください。

```
llamacompress c:/Core/
```

注CSS ではパッシブ モードの FTP はサポートされていません。

[Cisco テクニカルサポートに提出する重要なコア情報の抽出](#)

UNIX マシンで次のコマンドを発行し、コア ファイルの最初の 15 行を表示します。ここには問題を特定するための重要なテキスト情報が記載されています。

```
strings | head -20orgzcat | strings | head -20
```

注原因を究明するために、この情報を Cisco テクニカルサポートに送信してください。また、未解決の不具合を修正する必要がある場合は、WebNS 開発者が分析を行えるように、コア ファイルを Cisco テクニカルサポートに FTP 転送する準備をしておいてください。

[関連情報](#)

- [Cisco CSS 11000 シリーズ用の販売発表の終わり-製品速報第 2193](#)
- [販売の Cisco CSS 11800 Content Services スイッチの終わり-製品速報第 1762](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)